



万葉岬からみた瀬戸内海国立公園



2024～2025年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

会 長 神谷 栄 幸
幹 事 高谷 俊 祐
会報委員長 岡田 佳 也

例会日/毎週水曜日 12:30～13:30

例会場/相生商工会議所 Tel(0791)22-1234

事務局/相生市旭3-1-23 相生商工会議所内
Tel(0791)23-0144 Fax(0791)22-2290

例 会 記 録

2025(R7)年 5月 21日

会報委員 阿賀慶彦

プログラム5月28日(水)
「阿弥陀様とお釈迦様との違い」
称念寺 住職 瀬川 慎 様
(水本会員)

次週プログラム6月4日(水)
「新会員スピーチ」
高見 潤会員 / 井川昌幸会員
(例会運営委員会)

◆点 鐘 (神谷会長)

◆ソング “それでこそロータリー”

◆出席報告 (大西恒例会運営委員長)

| 会員数 | 出席数 | 事前 メイクアップ | 出席免除 |
|--------|--------------|--------------|--------|
| 25 | 23 | 0 | 1 |
| 本日出席率 | 事後 メイクアップ | 5/7欠席数 | 5/7出席率 |
| 95.83% | 0 | 0 | 100% |

◆会長の時間 (神谷会長)

こんにちは。
朝晩ずいぶん暑苦しくなりました。いかがお過ごしでしょうか？

またまた大相撲の話ですが、やはり先週申し上げたとおり大の里が全勝で突っ走っております。優勝間違いなしでしょう。尊富士はこけましたが。

さて、今週の土、日はペーロン祭りです。少し天気が心配ですが。雨の予報が出ております。なんとかもってくればよいのですが。

皆様はそれぞれの立場で携わられると思いますが、私は20数年来、毎年2日間本部席でマイク設備保守のため座っておりましたが、去年から息子に代わってもらいました。

さて、私の任期もあとわずかになりました。飛行機でいうと着陸態勢に入ったところでしょうか。スムーズにソフトランディングが出来たらなあと思っております。

さて、先週はニコニコの話をしましたが、今週はロータリーはなぜ例会出席を奨励するかという資料

がありましたので、少しだけお話をさせていただきます。例会では、ロータリーの理念に共鳴した心から信頼できる仲間と、純粋な「親睦」Fellowshipを楽しむことができます。会員は平等・対等で、仕事上の取引関係や先輩・後輩の関係はクラブ内に持ち込まないのがルールです。

ロータリーには、職業分類制度があり会員の職業の多様性が確保されています。利害関係のない幅広い異業種の会員と事業上の発想の交換ができるのも、会の楽しみのひとつです。

例会出席は義務かロータリーは、毎週1回定期的に例会を開きます。そして会員は出席規定により、例会に出席すべきと定められています。しかし、この規定は義務規定ではありません。例会出席は、会員資格を有する者なら当然行使すべき権利、特権であると考えべきです。ご存じの通りどうしても出席できない場合は例会開催の前後2週間以内にメイクアップすれば出席補填できます。例会に出席し、クラブの奉仕活動に参加し、地区の会合などに参加しているうちに、あなたもきっとロータリーの魅力を発見することになると思います。

◆幹事報告 (高谷幹事)

○例会変更

・姫路南 RC

6月30日(月) 「最終ほろにが会」

17:30～ 例会

18:00～ 最終ほろにが会

ホテル日航姫路

○回覧…Rotary MAGAZINES 5月号

◆委員会報告

○社会奉仕委員会（松浦委員長）

今年の3月1日に第2回相生ロータリークラブカップボッチャ大会が開催されましたが、市の年度が替わり第3回を6月28日に開催します。支援は3月にしておりますので、今回は無しで当日の参加もしません。

○国際奉仕委員会（下田委員長）

使用済み切手収集に阿賀会員よりご協力いただきました。ありがとうございます。

◆SAA（大西賢SAA）

ニコニコ箱

神谷会員…ニコニコ箱へ。今週はペーロン祭です。晴れると良いのですが。
 高谷会員…ニコニコ箱へ。
 鳴瀬会員…昨日、初めて大阪・関西万博に行ってきた。暑い暑いとぼやきながら廻って感じたのは、やっぱり摩訶不思議な空間でした。
 富田会員…本日は卓話当番です。神谷会長には大変ご面倒をおかけしました。ありがとうございます。
 大西賢会員…ニコニコ箱へ。

◆プログラム（大西恒例会運営委員長）

「MSC ベリッシマクルーズ」

担当 富田会員



本日の卓話当番に当たりまして、ちょうどこの5/8（木）～5/13（火）に外国船籍の大型客船で日本発着のクルーズに行っておりまして、旅行記と申しますか私の感じたことをお話したいと思っております。これが、私が今回乗船しましたMSC ベリッシマ号です。総トン数 約17万トン、乗客定員 5,655名、乗組員だけでも1,600名が乗っています世界有数の超大型クルーズ船です。船籍はマルタです。船長さんはイタリアの方でした。その他の乗組員はほとんどがイタリア、マレーシア、フィリピン、インドの方だった様に思えました。日本語が分かる方もいますが、やはり共通語は英語です。就航は2019年、日本には2023年からやっと寄港できるようになった新しい船です。日本にとっては、時代の流れでこのような大型客船に寄港してもらえるように各地の

港では専用ターミナルを整備するところが増えていくようです。何しろ一回で5,000人以上の人がどっと街に出て観光する訳ですから、経済効果はかなりの物だと思います。

私がクルーズ船らしき物に初めて乗ったのは、今は廃船になってしまった「パシフィック・ビーナス号」でした。ご存じの方も多いと思いますが「パシフィック・ビーナス号」はIHI 相生工場で生まれた美しい船でした。当時、世界をめぐってきた「パシフィック・ビーナス号」はメンテナンスのために定期的に相生に里帰りしていました、その仕上げに神戸港からお客さんを乗せて一晩だけ瀬戸内海を回ってくる。というクルーズをしておいて、私は何年か続けてそれに乗せていただいております。

それから2年前に人生初の外国籍大型客船に乗る機会を得ました。「ダイヤモンド・プリンセス号」といいます。そして今回「クルーズ船ってどこも一緒かな?」と思って2隻目に乗った訳ですが、乗った瞬間、すぐに気がつきまして。「これは、まったく別の旅だ」。一歩乗り込んだ瞬間の「空気」が違っていました。英国船の「ダイヤモンド・プリンセス号」とマルタ・いわばイタリア戦の「MSC・ペリッシマ号」。外国でいろいろな都市を訪ねてもそれぞれに雰囲気異なるのと似ています。全くキャラクターが違うのです。どちらも非日常空間であることは間違いないのですが、一言で言うと英国籍は英国風（静かな高級ホテルって感じ）、イタリア船は陽気でフレンドリー（でも年寄りには疲れる）です。それだけに次回は違う国籍の船に乗ってみたいと思っています。

まだ、乗船経験が2度だけなので、偉そうなことは言えませんが、クルーズ船の良さは時間を贅沢に使い、移動や滞在そのものを楽しめることだと思います。移動時間そのものを満喫しながら、景色や食事、会話を楽しみ、船上でゆったりとした時間を過ごしながら目的地へ向かえるのは文字通りストレスフリーで、他の旅では味わえないものかもしれません。皆さまも是非挑戦してみてください。



◆点 鐘（神谷会長）